

【エクアドル内政・外交：2013年1月】

1. 概要

- 4日 大統領選挙の選挙キャンペーン開始
- 9日 裁判審議会(Consejo de Judicatura)委員の任命
- 10日 パティーニョ外相のベネズエラ訪問
- 23日 エクアドル・ペルー首脳会合及び第6回両国合同閣議
- 26日 モレノ大統領代行及びパティーニョ外相のCELAC会合への出席

2. 内政

(1) 大統領選挙(副大統領)、国会議員選挙、アンデス議員選挙

ア 4日、2月17日に実施予定の総選挙に関し、42日間の選挙キャンペーンが開始された(選挙キャンペーン終了日は2月14日。)。大統領選挙(副大統領)選に出馬する候補者8名は、メディアでの広告やプロモーションを含めた活動を行うことができる。なお、コリア大統領は、選挙キャンペーン中に大統領職をおろそかにしないよう1月15日より一ヶ月間、大統領職をモレノ副大統領に委任する許可を国会に申請し、2日承認された。

イ 15名を選出する国会議員選挙(全国区)では、165名が候補者登録されている。また、選出される国会議員数は全国区、地方区をあわせて計137名となった。

ウ 4日、コルデロ国会議長は、選挙キャンペーンのため国会議長の職を離れた。また16日、パティーニョ外相は、コリア大統領の再選のため及び与党国会同盟(AP)の選挙キャンペーンに参加するため、数日間外相職を離れることを発表した。

エ 6日、当国の世論調査会社7社が国家選挙審議会(CNE)により承認された。

オ 29日、パティーニョ外相は、2月17日に実施予定の総選挙に関し、OAS、UNASUR、UNIORE、ASEAN、アフリカ連合、アラブ連合、アンデス議員、GRULAC等から構成される320名の国際監視団がエクアドルを訪問することを発表した。

(2) 裁判審議会(Consejo de Judicatura)委員の任命

9日、市民参画・社会コントロール審議会が国の裁判行政業務を司る5名の裁判審議会(Consejo de Judicatura)委員(任期：2013-2019年)を任命した。メディアは、いずれの人物もコリア政権の要職に就いていた人物であり、司法権の独立が保たれていないと批判。

3. 外交

(1) 対米関係

ア 3日、当国外務省は、コリア大統領の従兄弟であり、数々の汚職に関与していたとされるペドロ・デルガド中央銀行理事会会長の経歴詐欺が発覚した件につき、デルガド氏は妻がマイアミ総領事で勤務していたために外交査証を所持していたが、同査証を無効にするようコリア大統領が指示を出した旨の外務省コミュニケを発出した。

イ 31日、パティーニョ外相は、ニュージェーシー、シカゴ、ニューヨークに在住するエクアドル人コミュニティと会合を行うため米国を訪問した。また、ニューヨークに於いて開催されたジュリア・アサンジ・ウィキリークス創立者の働きを称えるための行事に参加した。

(2) 対ベネズエラ関係

ア 9-11日、パティーニョ外相はベネズエラを訪問し、チャベス大統領に連帯の意を表明する旨の10日付コリア大統領発マドウーロ副大統領宛書簡を届けた。11日、ベネズエラに在

住するエクアドル人コミュニティと会合を行った。

イ 18日、パティーニョ外相はカラカスを訪問し、ハウア・ベネズエラ外相との間で、政治、経済社会分野での二国間協力につき会談を行った。

(3)対ヨーロッパ関係

ア 20日、パティーニョ外相はイタリアのミラノを訪問し、エクアドル移民との会合を行った。

イ 21-22日、パティーニョ外相は経済危機にあるスペインに在住するエクアドル移民との会合を行った。

(4)対アジア関係

ア 18日、アルブハ外務副大臣はカンボジア、マレーシア、ベトナム、ラオス、タイを訪問し、政治対話、貿易、観光、文化促進活動を行った。またこれら各国からのエクアドルへの投資促進を呼びかけた。

イ パティーニョ外相及び他大臣は、南東アジア諸国訪問を本年実施することが予定されている。

(4)対CELAC関係

ア 26日、モレノ副大統領代行及びパティーニョ外相はチリで開催された第4回CELAC外相会合・首脳会合及びCELAC-EU会合に出席するためチリを訪問した。

イ 同会合において、エクアドルが2015年に、CELAC議長国として就任することが強調された。パティーニョ外相は、CELAC強化に貢献するための準備に全力を尽くす旨を約束した。